

I ごあいさつ

高次脳機能障害の支援については、平成19年度から、沖縄リハビリテーションセンター病院と平安病院の2か所を高次脳機能障害支援拠点機関として、専門的な相談支援、理解を促進するための普及啓発、支援手法等に関する研修会等を行い、支援体制づくりを行っているところです。

高次脳機能障害という言葉は、支援拠点機関等の活動により、少しずつ認知されてきましたが、高次脳機能障害の方やご家族が安心して地域で生活するには、行政機関・医療機関・福祉サービス事業所などの関係機関が連携し、支えていくことが必要です。今回、支援拠点機関が中心となって、平成19年度に作成した「高次脳機能障害支援機関一覧」を、さらに内容を充実させた改訂版を作成することとなりました。

この冊子には、高次脳機能障害を持つ方が利用できる福祉制度や、県内の行政機関や医療機関、福祉サービス事業所などに関する情報が掲載されています。この冊子が、高次脳機能障害を持つ方やご家族の支援のネットワークの足がかりとなり、支援の輪が広がっていくことを期待しております。

結びに、本冊子の作成にご尽力いただきました、沖縄リハビリテーションセンター病院並びに平安病院の関係者の方々に対し、深く感謝申し上げます。

沖縄県福祉保健部障害保健福祉課

課長 金城弘昌

2011年3月11日東北地方において未曾有の大震災が発生し今も被害の報告が続いているところです。これからの日本の将来は多難であることが予想されますが今こそ国民皆が力を合わせてこの難局に立ち向かわなければなりません。

さて高次脳機能障害の支援につきましては当事者ならびにご家族の皆様の応援のおかげもありまして県の支援普及事業もようやく実績を残し始めています。当院も沖縄リハビリテーションセンター病院とともに当事業の支援拠点病院として専門相談や人材育成、ネットワークづくりを行い高次脳機能障害の当事者の皆様への支援確立を目標として地道に活動を続けてまいりました。診断・治療についてはもちろんのこと福祉、就学、就労に関する援助もわずかながらではございますが実績を積み上げているところでございます。

2007年からはじまった県の支援普及事業も軌道に乗ったと私たちは評価していますが、まだまだ課題もあり今回改定となったこの支援機関一覧に掲載された各機関と協力し、さらに県民の理解も深めることで適正な支援がなされていくことを期待いたします。

医療法人へいあん 平安病院
病院長 大田裕一

今回、平成20年度に発行された「高次脳機能障害支援機関一覧」が改訂され、装いも新たに機能障害支援ガイドブック「リンク(LINK)」が発行されることとなりました。高次脳機能障害という言葉は少しずつ知られてきているようですが、そのリハビリテーションの方法や支援方法に関してはまだまだ確立されたものはありません。平成19年度から沖縄県でも高次脳機能障害支援普及事業が始まり、このガイドブックは本事業の中で作成されました。高次脳機能障害を支援するネットワークができる手助けになることを期待し、ここに掲載された機関のみではなくご協力いただけるすべての機関とつながって(リンクして)より円滑な支援ができることを期待しています。また私ども支援拠点機関は今後も高次脳機能障害支援に努力して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院
リハビリテーション科 山口 健